



日本女子大学附属中学校

THE JUNIOR HIGH SCHOOL AFFILIATED with J.W.U.

2022



自然とのふれあいが、 こころ豊かな人間性を育みます。

「森の中の学校」といわれるように、日本女子大学附属中学校は自然が残る多摩丘陵の一角にあります。木漏れ日を浴びて登校し、土の温もりを感じ、鳥のさえずりを聞き、四季折々の花に心を和ませる学校生活。「豊かな自然が豊かな人間性を育む」という生活を大切に守りながら、ゆとりある時間の中で一貫教育を実践しています。生徒たちが一步一步、自分の歩幅で成長していく日々。その日々の喜びや感動、達成感を見守っている豊かな自然。ここには、そんな素晴らしい環境があります。





CONTENTS

ごあいさつ	3
成瀬仁蔵 建学の精神	
教育内容	5
授業紹介	7
年間研究	12
特色ある教育	13
自治活動	17
十月祭(文化祭)	18
クラブ活動	19
年間行事	21
キャンパス案内	23
日本女子大学・進路	25
マイストーリー	27
通学圏・Q&A	29



創立者 成瀬仁蔵

Message ごあいさつ

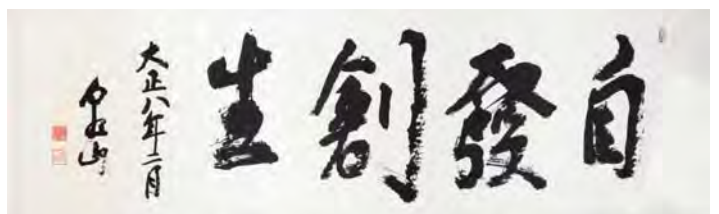
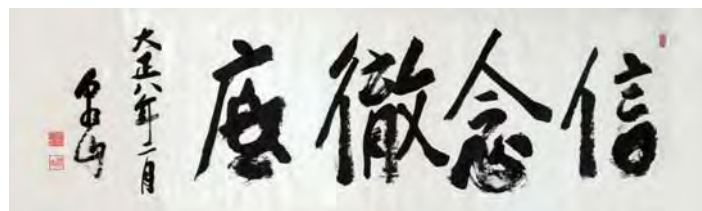
120年を経た今も未来を照らす 建学の精神。

本校の創立者 成瀬仁蔵は、女子の生涯にわたる教育の意義と重要性を説いて、1901年(明治34年)に日本女子大学校を開校しました。

「自念自動」のことばは、この創立時に唱えた教育方針であり、百余年を経た現在に至るまで本校の教育の根幹として受け継がれています。

成瀬はその後幼稚園から大学院、さらに生涯教育の拠点となる「桜楓会」を発足させて、一貫教育の組織を完成させました。こうして生涯をかけて伝え続けた教育の綱領として、「信念徹底」「自発創生」「共同奉仕」の三つの教えを残しました。

この三綱領は、生徒一人ひとりが日々その実践に努める教えであるとともに、卒業生の一生を照らす道しるべとなっています。



私たちの「自念自動」

～見つけた自分～



「しなやかに、したたかに、おおらかに」

本校の学びの主体は常に生徒です。どの教科も「あなたはどう考えますか」と問いかけ、考えるための知識と方法を学びます。創立者成瀬仁蔵が実践した、外から取り入れた知識「印象impression」を、整理して自分のものとする「構成construction」を経て、言動に移す「発表expression」に繋げてこそ「学び」が完成するという今に新しい姿勢が、120年間毎日の授業や学校生活全体に息づいています。

世界のグローバル化が進み時代の変化著しい今日において、新しい時代を豊かに生き抜くために必要なのは、「しなやかに変化に対応する力」、「したたかに正しく情報を読み解く力」、そして「おおらかに異質な存在を受け入れ助け合う力」です。森の中の学校で心豊かに深呼吸しながら、「私が私であること」と「あなたがあなたであること」を尊重し合って、しなやかにしたたかにおおらかに、自分を育てていきましょう。



日本女子大学附属中学校
校長 椎野 秀子



Educational Contents 教育内容

個性を尊重し、人を総合的に育てる教育。
 “学び”の真価は、一生涯にわたり輝き続けます。

「自ら考え、自ら学び、自ら行動する」……120年以上続く教育の原点

創業者成瀬仁蔵が唱えた「自念自動」の精神は、中学校において「自ら考え、自ら学び、自ら行動する」という教育目標として生徒たちにも深く浸透しています。学校は単に知識を習得するだけの場ではなく、授業やあらゆる場面で、自分で考え課題を見つけて取り組み、みんなで話し合っまとめた意見や作品を、発表することでさらに深い学びにつなげます。創立当初から脈々と続くこの学びの姿勢が自発的で主体的な生徒を育てていきます。一貫教育がもたらす豊かな時間の中で、アクティブに学びバランスのとれた真の教養を身につける。一人ひとりの中に眠る資質と才能を掘り起こし、一生涯生かせる教育。その真価は多くの卒業生の活躍が証明しています。

1年生時間割表

	月	火	水	木	金
1時限	英語	道徳・総合	体育	音楽	国語
2時限	国語	英語	数学	社会	理科
3時限	美術	書写	国語	英会話	数学
4時限	美術	社会	英語	数学	体育
5時限	数学	理科	技術・家庭	国語	英語
6時限	社会	理科	技術・家庭	体育	バイオリン

複数の教員で授業を行います。

生活時間

夏季(4月~10月)	冬季(11月~3月)
8:50 始業	
1時限~4時限 8:50~12:40	1時限~4時限 8:50~12:20
昼食	
5時限~6時限 13:30~15:20	5時限~6時限 13:10~14:50
終礼・掃除 15:30~16:00	終礼・掃除 15:00~15:30
クラブ活動 16:00~	クラブ活動 15:30~
最終下校 17:30	最終下校 17:00

火曜日は8時40分から朝礼を行います。

中学カリキュラム

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	英語	道徳・総合	書写
中学1年	4	3	4	3	2	2	3	2	5	1 2/3	1/3
中学2年	4	3	4	4	2	1	3	2	5	2	
中学3年	4	4	4	4	1 2/3	1	3	2	5	1 1/3	

バランスよく総合的、体系的に学ぶ。 基礎学力を重視した中・高一貫のカリキュラム体制。

プレゼンテーション教育



- ・ICTを利用したプレゼンテーション **P.15**
- ・多くのスピーチ
- ・発表授業 **P.7**

リーダーシップ教育



- ・自治活動 **P.17**
- ・6年間のうち中3・高3で2度リーダーを経験

本物に触れる教育

- ・理科 年間40回以上の実験 **P.9**
- ・校外授業 **P.13・14**
- ・講演会と芸術鑑賞会 **P.22**

書く力

- ・行事ごとに感想をまとめ全員の作品掲示
- ・例えば国語では3年間で原稿用紙約750枚

自己の確立

基礎学力の徹底

- ・各教科での基礎力を固めるための取り組み **P.7~11**



協働力

- ・十月祭 **P.18**
- ・クラブ活動 **P.19・20**
- ・音楽会(全学年全員での合唱)ヴァイオリン演奏 **P.10 P.22**
- ・運動会(学年を越えたクラス対抗) **P.21**
- ・球技会 **P.22**

グローバル教育

- ・国際理解教室 **P.16**
- ・春休み英語集中プログラム
- ・TOEFL junior®
- ・英検

探究力

- ・年間研究 **P.12**
- ・「日本女子大学附属中学校のライティングリテラシー」 **P.15**



高校カリキュラム

	国語	地歴・公民	数学	理科	保健体育	外国語	情報	芸術	家庭	選択A	選択B	総合的な探究の時間	ホームルーム
高校1年	現代の国語 2 言語文化 2	地理総合 2 歴史総合 2	数学I 3 数学A 2	物理基礎 2 化学基礎 2 生物基礎 2	体育 2 保健 1	英語 コミュニケーションI 3 論理・表現I 2	情報I 1	音楽 総合 1					ホーム ルーム 1
高校2年	文学国語 2 古典探究 2	公共 2 倫理 2	数学II 4	物理 2 化学 2 生物 3	体育 2 保健 1	英語 コミュニケーションII 3 論理・表現II 2	情報I 1	音楽I 美術I 工芸I 書道I 2	家庭 総合 2	1科目 選択 2		総合的な 探究の時間 1	ホーム ルーム 1
高校3年	文学国語 2 古典探究 1	日本史探究 2 世界史探究 3	数学B 2	物理 2 化学 2 生物 2	体育 3	英語 コミュニケーションIII 3 論理・表現II 1			家庭 総合 2	4科目 選択 8	1科目 選択 2	総合的な 探究の時間 2	ホーム ルーム 1

選択Aは現代文学、古典読解I、地理探究、現代世界史、数学III、数学C、リーディング、ライティング、物理、化学、生物、情報IIなど25講座以上から5科目を選択。
選択Bは児童文学、時事問題、総合数学、ディスカッション、中国語、フランス語、ドイツ語、音楽、器楽、美術、工芸、書道など20講座以上から1科目を選択。



Class Introduction 授業紹介

「学ぶとは、自分の明日を創ること」



本校の卒業生が残していった言葉です。多くの知識を得るだけでなく、自分なりに考え、深め、活用していくことで初めてその知識は自分のものとなる。そのようにして得た力は、生涯自分を支えてくれることでしょう。

本校の生徒たちは皆、答えのない問いに向き合い、試行錯誤する過程を楽しんでいます。どの教科でも、自分なりの答えを導き出すことを求められ、そこに未知の可能性と選択の自由を感じてわくわくするのだと言います。

放課後の教室で、その日の授業内容について友達と議論している姿。学校中の壁に掲示された作品を熱心に眺めている姿。友達と教え合いながら、楽しげにミシンを走らせる姿。納得できるまで、繰り返しダンスのパートを練習する姿。人と競うのではなく、昨日の自分を超越するために学ぶ姿は、輝きに満ちて生き生きとしています。

教頭 野中 友規子



生徒によるスピーチ発表

「感じる心を育て、表現する力を身につける」

国語の授業は言葉に対する学びとともに、生徒の自己発信と受容の場でもあります。授業で扱う文学作品は文庫本を使い、丸ごと味わうことで、作品への理解を深めます。また、詩歌の鑑賞や新聞記事意見文等、様々な題材で取り組むスピーチの発表は、自己を見つめ友人を知る機会であり、生徒自身の内面を語る貴重な場となっています。毎年行われる歌舞伎鑑賞教室や能楽鑑賞会では、その道の第一人者に事前講義をお願いすることで、芸術との出会いをより豊かなものにしていきます。さらに1、2年生で行う複数教員による細やかな添削指導は基礎学力の大切な時期の語彙力、文章力向上に役立っています。

国語 *Japanese*

スピーチ発表は自己を見つめる貴重な機会



作者調べ



創作短歌



『智恵子抄』鑑賞文

Student's Voice!

国語で得られる多様な学び 1年 S.A.さん



この学校の国語は、深くじっくりと本質を学ぶことのできる授業だと思う。1冊の本について学ぶ際にはまず作者調べから始まり、どのような意図から生まれた作品なのかを考え、その上で自分が読んで受け取ったことの正体を明らかにできるため、教科という枠を超えて作品の魅力が感じられる。その一方で感じたことを文章にしたり、スピーチとして意見を発表する場が多いため、多様な視点を学びつつ自身の考えを発信することができる授業でもある。このように国語の授業で磨いた思考力や感性、楽しく深めて得た知識は、今後の糧になると思う。



社会 *Social Studies*

育まれる多角的なものの見方



江戸時代の文化レポート
『北斎×富士山』



世界一周旅行計画

Student's Voice!

もっと“知りたい”

1年 F.K.さん



社会科の面白さは過去を紐解くことで現在が見えてくることだ。新しいことを知る度に、現在は過去の上に成り立っていることに気付く。地理ではひとつの事実でも視点を変えると全く違う面が見えてきて、いつも驚かされる。歴史は一見関係のなさそうならばらばら的事实を集めていくと、ひとつの出来事につながっていく。まるで何千ピースもあるパズルのようだ。どのようなことにも理由があるのだと思うと、様々な出来事の根拠を知りたくなる。社会科は「知りたい」という知的欲求を満たしてくれ、そのことがさらに授業を好きにさせてくれる。



地理の授業

「奈良時代の木簡を解読しよう!」歴史(中1)での活動です。一見難しそうですが、資料を読み解くことは歴史の本質であり、生徒は主体的に取り組みます。地理では景観写真から地域の姿を解き明かし、公民では模擬選挙や裁判傍聴で「本物」に触れる機会があります。知識を丸暗記するのではなく、学びを深めていく過程で抱く「なぜ?」「どうして?」という疑問や関心を大切にしながら授業を進めていきます。このような学習を通して、生徒は物事の本質を理解し多角的に物事を洞察する力や抽象的に物事を捉える力を育み、自らの考えを熟成させていきます。

そして、いずれは自ら社会に働きかけていく行動力を持つ人になってほしいと願っています。

授業紹介・年間研究



スライドを使った数学の授業

生徒自らが考え、答えを導き出す過程を大切にしています。授業の中で、皆で考え、疑問を解決、納得して理解を深めます。「わかった」「なるほど」と実感したときに表情は変わります。

その後は丁寧に反復練習を重ね、着実に基礎力を固めています。授業ごとに提出するプリントやワークを通して一人ひとりがめ細かく指導し、定着を図ります。1, 3年生では少人数授業を取り入れ、より発展的な内容にも取り組み、演習を多く取り入れています。個々の学習状況に柔軟に対応し、計算力、数学的なものの見方、論理的な思考力を養います。休み時間には、自ら質問にくる生徒で研究室はあふれています。数学を通して自ら学ぶ姿勢、学ぶ楽しさ、喜びを知る生徒を育てています。

数学 *Mathematics*

論理的な思考力の養成



提出プリント



放課後の質問会

Student's Voice!

未来へと続く道

1年 N.N.さん

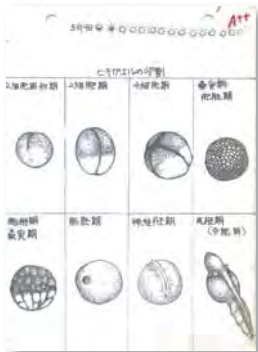


実生活とかけ離れた複雑な数式や図形。そんなイメージを数学に抱いていないだろうか。そこに確かな意味があることに気付ける授業が、ここにある。スクリーンでの授業は本校の数学の魅力だ。大きく写し出される解説で、問題の答えが絡まった糸をほどいていくように見えてくる。自分で問題を解いた力こそ本当の実力となって自分の中に蓄積されていくのを実感できる日が来るだろう。理解しにくい問題は、数学研究室へ。わからないポイントを先生がいつでも丁寧に解説してくれる。答えへの道は、必ず私たちの未来の生活へ繋がっていると信じている。



理科 *Science*

年間40を超える実験・観察



発生のスケッチ



植物観察のプリント



屋外での観察の授業

Student's Voice!

理科も意外と面白い!

1年 S.R.さん



小学生の頃の私にとって、理科は覚えたことをテストで使うという作業で苦手だった。ところが本校では実験をした結果から自分の言葉で考察をしている。分からなかったことが分かるようになること。そして、理解するために自分で道筋を立てる行程の楽しさを知った。この行程を丁寧に進めると、他教科の記述問題で自分の思いを他の人に分かりやすく伝えることもできるようになった。CO₂についての学習と関連付けて、地球温暖化の仕組みと解決のために私たちができることを考える授業では理科が随分身近になった。理科も意外と面白い!

生徒達は、季節ごとに鮮やかに色づく植物や土の中の小動物に驚きの声をあげます。実験では、かつての科学者と同じように暗い部屋で光を観測し、原子・分子の世界にせまる変化を目の当たりにします。顕微鏡による観察やニワトリの解剖等の実習を通じて、生物の魅力を探求する体験が毎時間できます。生徒は、興味・関心を持って実験・観察に取り組み、科学的な思考能力を養っていきます。これらの授業を可能にしているのは、本校の恵まれた自然環境と、中学校に4室ある理科実験室と天体観測ドームです。生徒が授業中に行う実験・観察は年間40を超えます。実物に触れることで味わった感動は、その後、実社会で生きる力に通じるのです。



英語劇-The Wizard of Oz

総合的なコミュニケーション力を高めることを目標に、きめ細やかな指導を心がけています。教科書を使用して基礎学力を定着させる授業に加え、多読やライティングを取り入れて様々な英語表現を習得します。また半数クラスでネイティブスピーカーによる英会話の授業やLL教室でのリスニング・発音練習もあり、実践力を磨いていきます。毎年、授業内で歌う英語の歌や、1年生の英語劇、3年で言うディベートが生徒には好評です。中学卒業時にはほぼ全生徒が英検3級以上を取得します。

希望者には1年生ではネイティブの講師によるSpring Intensive English Program、3年生選択校外授業ではBritish Hillsコースなど短期プログラムを用意しています。

英語 *English*

基礎を積み重ねて磨く豊かな表現力



Writing "Travel Guide"



実践的な英会話の授業



Yearbook Report

Student's Voice!

I love English classes!

1年 I.C.さん



英語の授業はとにかく楽しい。ちょっと教室を覗いてみよう。授業は歌から始まる。時にはポップス、時にはクリスマスソング。生徒からリクエストもできる。授業は、暗唱をしたり課題を発表したりする。机に目を落としているより顔を上げて英語を話すほうが多く、参加型で夢中になる。英語劇では、衣装や演技を考え、感情を込めた生き生きとした英語に挑戦する。ネイティブの先生の授業は、様々なシチュエーションでの会話、スピーチやクイズなど笑いあふれるクラスだ。楽しい授業がやる気を巻き起こす。そしてまた明日の英語が楽しみになる。

音楽 Music

音楽に接する貴重な経験



声楽の授業

Student's Voice!

一から創る

2年 I.A.さん



教室に響く生徒の歌声、バイオリンの音色。それはどれも本校ならではのものだ。自分たちで深め、思いを共有し、噛みしめることでその音色はより豊かになる。音楽には正解がない。私はそこに音楽の醍醐味があると考えている。私たちにしか創ることのできない、かけがえのないもの。それが出来上がる過程に音楽の楽しさが隠れている。その楽しさを見つけることも、音楽の大きな魅力であると思う。一から自分たちで創り上げていく面白さは何にも代えがたい一生の財産だ。



ヴァイオリンの授業

ヴァイオリンは、穏やかな心と集中力をもって臨まないと決して弾くことが出来ない楽器です。ボタン1つでできてしまう世の中で、この経験は貴重です。初めは決して思うような音はできませんが、コツコツ努力を重ねることで美しい音との出会いが必ずあります。

声楽では学校行事の歌をはじめ、幅広く多くの名曲に接する機会を作り、曲の奥深さを自ら実感します。また、基本的な楽典、ソルフェージュを学習し、歌う楽しみ、人前で表現することの楽しさを学びます。それぞれの楽曲を通して心を豊かにし、周りの声に耳を傾けることによって協調性を育て、さらに深みのある声、表現を目指します。

授業紹介・年間研究



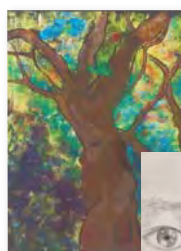
屋外でのスケッチ

美術科では、3年間を通して一つ一つの作品をじっくり作り上げ、自ら考え判断する力を養います。将来にわたって豊かな生き方ができるようさまざまな材料・素材を体験して制作活動を行っています。中学に入学した生徒が最初に取り組む作品は、広大な西生田の自然豊かな校地内での「わたしの木」です。2年生では、自画像デッサンで自分と向き合い、自己を表現します。3年生では、これまで自らの手で作り経験してきたことを生かし絵画で自由制作を行います。

制作前後には、関連するさまざまな作品や互いの作品を鑑賞し、魅力や美しさを感じとります。そして毎年十月祭では、生徒全員が作品を発表します。

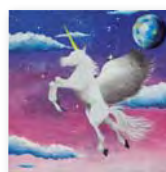
美術 Art

さまざまな素材を使った制作活動

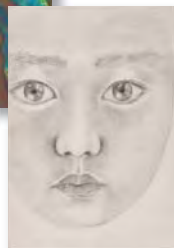


わたしの木

自由制作



銅板打ち出し



自画像



陶芸 絵皿



マスクingtapeアート

Student's Voice!

表現する力

2年 T.A.さん



綿密に描きこんだ鉛筆の線は、作品に独特の深みを刻む。美術の授業は、私に言葉以外の「個性を表現する方法」を教えてくれた。表現を積み重ねることで、作品に私の個性がにじみ出る。それは制作中に大切にしていたことや、こだわったことなどだ。私は自画像や、これまでの課題を通して、技術面の他に、工夫によって自分らしさを表現できる楽しさを学んだ。そこには必ず発見があり、新しい自分との出会いがあるからだ。その出会いには爽快感と晴ればれとした気持ちがある。私はこれからも、新しい出会いを求めて、「描くこと」に挑戦し続けたい。



体育 *Physical Education*

スポーツを通して養う心と身体



運動会

Student's Voice!

新しい思い出を共に

2年 T.Y.さん



体育は指示通りに動くだけの科目ではなく日常をより華やかにしてくれる。本校の授業ではペアやグループでやることが多く、友達との距離を縮めるのに最も適している。友達とやることでお互いに刺激し合いながら授業を進められ、自分も友達もさらなる成長のきっかけとなる。特に絆を深められる大きな機会として運動会がある。本番前には1つの目標に向かって練習に打ち込むことで達成した時の喜びはかけがえのないものとなる。広々としたグラウンドや自然に満ち溢れた校舎。特別な空間で新しいことに挑戦していく楽しさを体育は教えてくれる。



水泳の授業

運動技能・体力の向上を目指し、体育館3棟・グラウンド・テニスコート・温水プールと恵まれた環境を生かし、様々な種目に取り組んでいます。また、それを基に生涯にわたるスポーツを楽しむ力をつけていくことを重視しています。中でもバレーボールとバスケットボールは、球技会の種目として採用していることもあり、3年間通して行います。練習を重ねるごとに技能の向上が見られ、特に3年生の試合は迫力のあるゲーム展開が見られます。

年度が替わり初めての行事である運動会では、学年を越え3年生がリーダーとなり、競技や応援の練習に励みます。クラスの団結力を高める、1年のスタートに相応しい行事です。



アジの3枚おろしに挑戦

実験や実習を充分に取り入れて、自分たちの力で問題を解決する機会を多く設けています。学校生活で活用する作品は、1人1台のミシンを使い授業内で完成します。入学当初は、恐る恐るミシンを踏んでいた生徒も、3年生でパジャマを完成する頃には、大きな達成感を感じ、製作が大好きになっているのです。長期休暇には調理実習の復習レポートを課しています。技術の定着はもちろん、家族との対話が増え、その後も継続して自分にできることを実践していく機会となっています。

生活者として自立できる力を養いながら、自らの生活が多くの人に支えられていることを学び、感謝の気持ちを忘れない生徒を育てたいと願っています。

技術・家庭科 *Home Economics*

実験や実習を通じて感じる達成感



割烹着・声楽用マスク製作



アジの三枚おろし

Student's Voice!

日常生活を磨く

2年 Y.M.さん



家庭科は日常生活に関わる幅広い内容を実践的に学ぶことができる。食品ロスの授業では、食品ロスをする事でどのような問題が生じるかを考え、互いに意見を共有し合った。そして、その問題を解決するために私達が出来たことは何か、日常生活の中でどう工夫して暮らしていくべきかを考えた。実際に自分の家でどの位の量を何が原因で捨てられているのかを記録し考察もした。持続的で環境に配慮したライフスタイルのあり方について考える良い機会になったと思う。私自身で自分の生活をより良くしようと考え、工夫しながら実践することはとても楽しい。





Graduation Project 年間研究

テーマは自由。3年間の集大成。

3年間の学びの集大成として、自らテーマを決め、1年間自分で研究を進めていきます。はじめはどのように進めていけばよいか悩んでいる生徒も、教員との相談会で自分なりのテーマを決めていきます。自ら選んだテーマだからこそ、興味を持って取り組むことができ、新たな課題も見えてきます。夏休みなどを利用して、自分で本物に触れる体験をする生徒も多くいます。毎年3学期には、すべての生徒の研究成果が3年生のフロアに展示されることで、お互いの成長を感じるとともに、下級生たちにも刺激を与えています。



年間研究発表会



ポスターセッション



展示風景



『日本、そして世界の都市に生きる』



『本物の木～林業のあるべき姿』



『ミライと共存する建築』

Student's Voice!

諦めない力

3年 A.H.さん



毎年3学期になると、生徒の様々な作品が廊下に並ぶ。年間研究は3年間の学びの集大成だ。上級生の個性あふれる作品を見て、自分のテーマを考え、私だけの研究を行う。はじめは1年間同じテーマで研究できるか不安だったが、いざ調べてみるとその世界に没頭することができた。年間研究にはゴールが決められていないため、自分が納得できるまで1つのことを突き詰めることができた。長い時間をかけてコツコツと積み上げた成果は努力の結晶だ。研究を終えた時に感じた達成感は、何事も諦めない力に繋がっていくだろう。

Student's Voice!

自ら学ぶ

3年 H.A.さん



自ら学ぶ。このことがどれだけ面白いことなのか。それが分かるのが年間研究だ。自分で決めたテーマ、自分で立てた1年間の計画、自分が研究するうえで解きたい疑問。全て自分で作り上げていかなければならない。しかし、自分で決めたからこそ責任を感じ、自分が興味のあるテーマだからこそ追究していくのが楽しいのだ。そして、年間研究が出来上がったとき、自分の成長と可能性、興味のあるテーマの新しい魅力の2つが強く感じられる。自ら学ぶ、とは研究内容についてだけでなく、自分自身についても学ぶことができるのだと気づかされた。



教室だけが、学校じゃない。 校外で学ぶこともたくさんあります。

1年

軽井沢寮生活

夏休みに入るとすぐ、軽井沢の歴史ある三泉寮で2泊3日の共同生活をおくります。清々しい空気の中で学校の歴史を学んだり、話し合いをとおして友だちとの関係を深めていきます。皆で役割を分担して生活することで、協力しあうことの大切さを学びます。



三泉寮



話し合い



胸像挨拶



岩石採集

Student's Voice!

友達から得られる学び

1年 F.M.さん



軽井沢生活ではクラスをこえて話し合いを行った。1日目はロールプレイを行った。様々な人の立場に立つことで、相手の考えを深く理解することや、相手の考えを尊重する大切さを実感した。2日目は「自分の思いを相手に伝える」をテーマに話し合った。一人一人過去の経験を語り、理想の友人関係や友達の存在意義について改めて考えを深めることができた。短い間ではあったが、友達や自分の新しい一面に気付くことができ、この学校への理解も深められ、充実した時間になったと思う。これからは三綱領の精神を胸に目標を持って進んでいきたい。

2年

東北校外授業

50年前から続く、伝統の東北校外授業(3泊4日)。国語や社会、理科などの授業で学習した内容を現地で体験します。文人の故郷や足跡を訪ねたり、自然の雄大さやその恵みとともに育まれた文化を学びます。伝統芸能や郷土料理も味わう、豊かな学びの旅です。



平泉(郷土料理)



八幡平



太宰治疎開の家

Student's Voice!

本物から見つけたもの

2年 T.Y.さん



事前学習で自らが興味を持ったテーマについて調べ発表する。そして現地で本物を自分の目で確かめ、帰ってきてさらに学びを深める。実際に本物を見ると想像をはるかに越える光景が待っていた。学びというのは教科書や資料を見るだけではない、現地に行くからこそ分かることがたくさんあった。勉強が楽しいと心の底から思えた瞬間だった。この校外授業では自分の役割を果たす責任感や、今まで知らなかった友人の新たな一面も知ることができた。東北のことはもちろん、様々なことが学べた実りある校外授業になった。



三内丸山遺跡

3年

選択校外授業

「国際理解」「人間・文化」「平和」「環境」というテーマをもとに5コースが設けられた校外授業(2泊3日)。

2年3学期に、生徒が自分の関心にそってコースを選択します。

1学期から事前学習を行い、夏休みの最後に現地で“本物”を学習してきます。

(2019年度のコース)



広島平和学習

原爆や戦争の悲惨さを伝える施設を見学したり、被爆者の方と直接話をしたりしながら、平和について学習します。



関西歴史探訪

旅行で行くことの少ない奈良・京都の歴史的建造物を中心に巡ります。座禅や写経など、心を鎮め、「無」の境地を体験することができます。



越後農村体験

日本有数の米どころで、農作業のお手伝いをしながら、農村生活を体験します。農村の暮らしから日本を見る目を養います。



ブリティッシュヒルズ

広大な敷地の英国村で留学体験をします。様々なアクティビティを通して、英語に慣れ親しみながら、異文化体験を楽しむことができます。



北陸 自然と文化の旅

フォッサマグナに位置する糸川川、雄大な森に囲まれた白川郷、伝統文化が花開く金沢を訪れ、自然・地域との共生について学習します。

Student's Voice!

人々の生活の源

3年 I.M.さん



この北陸の旅で、便利さだけにとられず自然や文化と共存することの重要性を再確認できた。2日目に訪れた白川郷では実際に合掌家屋で暮らしている方からお話を伺った。厳しい自然の中で暮らした昔の人々の知恵や工夫の結晶であるこの文化が今日まで守り継がれていることに感動した。また、3日目には北陸の夜の森を歩いた。満点の星を皆で見上げ、人工物が多い東京では見られない自然の美しさを体感した。本物に触れ、人々の生活の原点を見た北陸の旅を通して、机の上の学びだけでは味わえない迫力や奥深さを肌で感じる事ができた。

Student's Voice!

今の私にできること

3年 H.Y.さん



大切な人が常に自分の隣にいること、今の私にとっての当たり前が当たり前ではなかったことを実際に見て聞くことで知ることができた。選択校外授業の最大の魅力である、普段は触れることのできない本物に触れることのできる機会。私は被爆者の方のお話を伺い、被爆建造物を巡ることで当時の広島が負った傷の深さを感じる事ができた。そして、二度とこんな惨劇を繰り返してはいけないと心から思った。他人のことを思いやる心を持つことが平和な未来を創っていく第一歩だ。今よりも周囲の人を思いやって過ごしていきたい。

特色ある教育



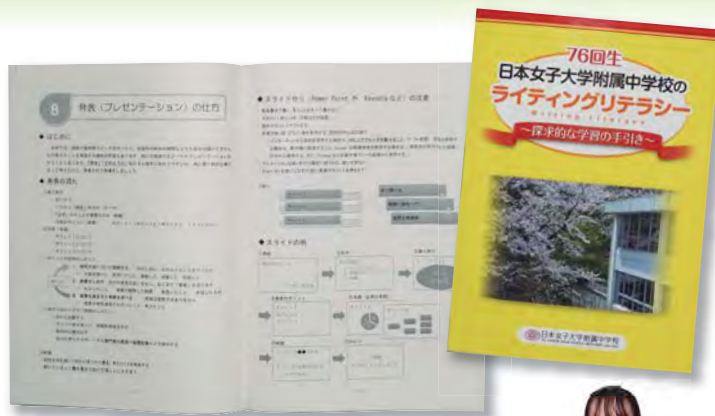
探求 学習

社会で必要とされる「書く力」の基礎を身につける



本校オリジナル教科書を使用し、「テーマ」の概念から、図書やWEBの検索方法、インタビューやプレゼンテーションの仕方など「レポートの書き方」を体系的に学びます。3年生は中学の集大成となる「年間研究」※をまとめます。

※「年間研究」の詳細は、12ページを参照ください。



Student's Voice!

どこまでも深く広がる学び 3年 K.M.さん



授業で好奇心を刺激され、芽生えた疑問を種に自分らしく興味を追究する。本校の毎日はそんな学びに満ちている。特に時間をかけて取り組むスピーチやレポートでは、個々が「もっと知りたい考えたい」という思いをとことん深めて自由に表現する。課題は自分を見つめ関心の幅を広げるきっかけとなる。また個性が生き生きと花開き、多様な考え方に触れられる場でもある。私自身この3年間で友人から刺激をもらい、積極的に問いを探して解決しようとする姿勢が身についた。少しずつ納得を積み重ね理解を深める力を礎に、今後も学び続けたい。

ICT 教育

「調べる力」「発信する力」を養うデジタル学習



2021年度から1人1台iPadを導入し、wifi環境下、校内のどこでも通信をすることができます。各教科授業での使用にとどまらず、委員会活動やクラブ、校外学習など、様々な場面でiPadを使用した情報収集、発表、アイデアのシェアが行われ、ますます活用の場を広げていきます。



Student's Voice!

成長と隣り合わせの環境で 3年 A.Y.さん



本校ではICT端末を活用した意見の共有を多く行っている。アプリを使ってスライドを作り英語でプレゼンテーションをしたり、グループで作成した資料を用いて生徒主体で授業を行ったり、用途は様々だが、どれも日々の勉強を豊かなものにしてくれた。また、休校期間の国語のオンライン授業ではアプリを通して皆の作品論を読み合う時間があり、友達の考えに触れる時間が長くなったことで自分の理解をより深められるようになった。個々の考えを吸収することで多面的なもの見方ができるICT教育の良さを生かし、今後も学びの幅を広げていきたい。

グローバル教育

多岐にわたるテーマを通しての国際理解教育



本校では、学園をあげてアフガニスタンの女子教育支援を行なっています。中学2年生では、アフガニスタン出身で、日本で医師として活躍されている方の講演会を行っています。また、2020年度は世界各国に居住する本校のOGの方々とオンラインを繋いでお話をうかがいました。「人権」「差別」「平和」「コロナ」などの多岐にわたるテーマを通して国際的視野を養います。



Student's Voice!

地球の一員として

2年 T.M.さん



国際理解教室では国際理解委員による授業や、現地で活躍されている方の貴重なお話を伺い、アフガニスタンを中心に世界の様々な問題や現状を知ることができ、知識を深めることができました。一人ひとりが平和や人権、貧困問題などに真剣に向き合い、地球上に生きる人類の一人としての自覚をもって、皆と一緒に考えられる大切な時間となった。それらは自分を創っていくうえで、大切な軸となると感じている。世の中が大きく変動していくなか、世界に目を向け、自らできることを探しにいく力を身につけることにも繋がると感じている。

特色ある教育

キャリア教育

社会を知る刺激的な学びの機会



3年生の2月には、研究者や弁護士、医師、アナウンサーなど様々な分野で活躍する卒業生を招き、仕事や社会について聞いてみたり、ディスカッションを通して将来のことを考えるキャリア教室が開かれます。卒業生の様々な社会での活動を聞くことで職業のみならず「働く」ということの意味を深く考えていきます。

お仕事	テーマ
弁護士	弁護士の仕事って面白い?社内弁護士って何?女性に向いている?
TVディレクター	テレビのお仕事のぞいてみたら～みんなでやること、私がやること～
起業家	やりたいことで、世の中を変える～ファッション誌編集者からママのためのアパレル会社設立へ
臨床心理士	『他人と話をするとき大切なことを一緒に考えよう』
研究員	創業研究の最前線ー勉強から研究への発展ー
内科医師	医者ってどんな仕事?
国家公務員(国土交通省)	「お役所仕事」はエキサイティング!

全17講座(※2020年度)

Student's Voice!

将来への道

3年 I.R.さん



自分の将来について考える機会、それがキャリア教室だ。これは生徒一人ひとりが興味を持つ職業を選択し、実際に本校の卒業生の方からお話を伺うことのできる行事だ。中学3年生という比較的早い段階で、将来を見据える時間を持ったことに大きな意義を感じる。本当に好きなことや、やりたいことに全力で取り組める時期だからこそ、将来の自分に思いを馳せ、熟考することができた。これから先の長い時間を、職業と共にどのように送っていききたいのかを考え、キャリア教室を通して見つけた自分の蕾が花開くときまで将来への道を歩み続けていきたい。

2020年度 休校期間中の教育活動について

- 3月 リモート授業準備・ネット環境調査
- 4月 リモート授業
- 5月 オンライン始業式・入学式・リモート授業(LIVE配信を追加)
- 6月 登校再開、分散登校+リモート授業
- 7月 分散登校+リモート授業、期末試験

休校要請を受け、3月中に各家庭のネット環境を調査。4月はじめに、生徒の自宅に教科書などを郵送し、授業動画と課題の配信を始めました。G.W.中にLIVE配信のテストを行い、画面越しですが、生徒の顔を見ながらのリモート授業をスタートしました。6月以降は、7月末の期末試験まで、分散登校とリモート授業を並行して行いました。これからも社会状況に応じた学びを続けていきます。2021年度新入生から1人1台ipadを導入しました。

学校は小さな社会。みんなで話し合いを重ね、自分たちの手で学校生活を充実させます。

学校教育に自治活動を取り入れた最初の学校といわれるように、本校において自治活動は勉強と並ぶ中学生活の柱でもあります。「自ら考え、自ら学び、自ら行う」という教育理念を実践するために、学校生活の運営に生徒が主体となって取り組みます。

Student's Voice!

信頼に込めて

3年 E.A.さん



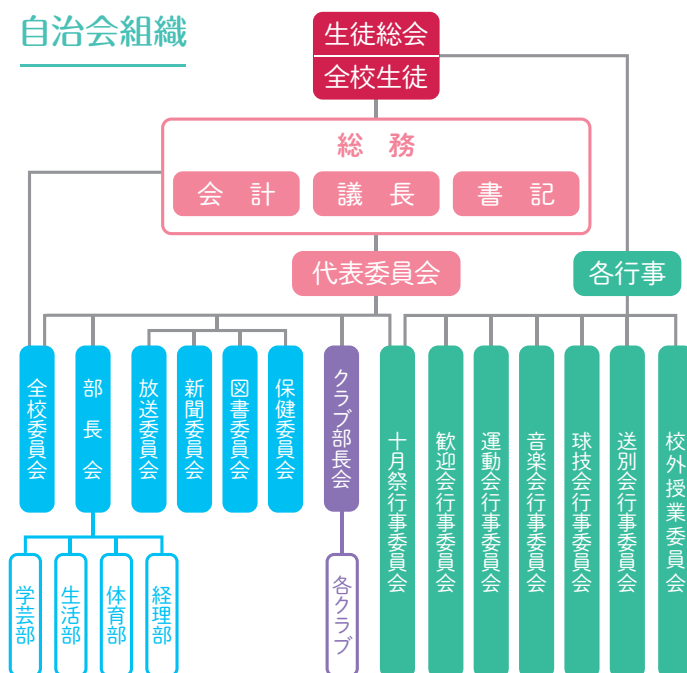
本校の特徴として、「生徒主体の自治」が挙げられる。先生方は生徒を信頼して見守り、生徒はその信頼を受けて、自分たちで学校を創っていくのである。「自由」な校風だからこそ求められる「自律すること」の意味を追求し、そのために私たちは何をすべきなのかを、何度も話し合いをして答えを導き出していく。そうした話し合いを積み重ねていくうちに、生徒一人ひとりが学校を創っているという自覚を持ち主体性が生まれ、より良い学校生活が築かれていくのだ。そんな本校ならではの自治を、私は誇りに思っている。

生徒総会

創立時より続く自治活動の中心にある生徒総会。生徒全員でこの1年の生徒会基本方針と十月祭基本方針を決定することから生徒総会は幕をあけます。自治活動の中心を担う生徒会総務がより良い学校生活を目指して様々な提案をし、各部署からも様々な発表があります。生徒の手による活気あふれる学校作りの中心となる会です。



自治会組織



代表委員会

生徒会総務、各クラスの代表である全校委員、四部や委員会の責任者が出席して開かれる代表委員会は、学校生活における諸問題や生徒会規約について、活発に議論が交わされる刺激的な場です。校風が自由であるからこそ求められる「自律する」ということの意味を、学年の枠を越えての話し合いから学んでいきます。



四部

クラス全員が四つの部のいずれかに入り、毎日のクラスの仕事を受け持ち、より円滑な学校生活を目指して活動します。

学芸部

授業の用意や提出物集め、作品の掲示をします。授業の静粛を呼びかけ、終礼の司会を務めます。

生活部

クラス全員で分担して行う清掃が、しっかりできるように責任を持ちます。

体育部

出席簿の取り扱いに責任を持ち、体育に関する仕事をします。朝礼の司会や進行をします。

経理部

募金やベルマーク等、社会奉仕に関する活動をします。クラス費の管理も行います。

主役は全生徒。日頃のクラブ活動や委員会活動の成果を発表する最高の舞台。

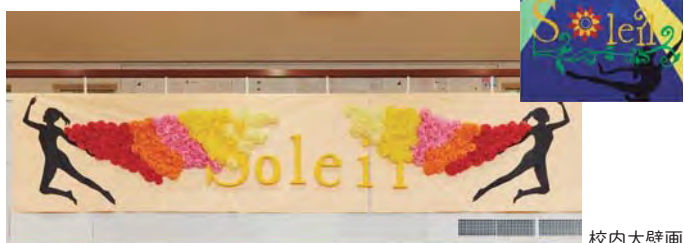
十月祭は、十月祭行事委員会を中心に、生徒自らが企画し、運営を行っています。伝統を土台に、中学生だからできること、感じることを一つのカタチにしていきます。伸びやかに、そして着実に創り上げていく研究発表の場「十月祭」をぜひご覧ください。

2019年度の様子



自治活動・十月祭

2020年度の様子



校内大壁画

Student's Voice!

十月祭は崩れない

3年 K.H.さん



普段なら沢山のお客様がいらして、賑やかで、マスクなどで顔が見えないことはなく皆の笑顔が光り輝いているのが私達の十月祭だ。しかし今年は本校らしさが崩れそれぞれの光が集まってできる十月祭は行えないと考えていた。ところが生徒達は逆にコロナ禍だからこそ出来る事を自らの手で見つけ出し十月祭を開催することができた。オンライン上でお客様が楽しめている様子、マスク越しでも笑顔でいる様子があった。私達の十月祭はどんな時も本校らしさを崩さず、生徒自身で困難を乗り越え、自ら作っていく十月祭である。



助け合い、競い合いながら、自分を磨き、新しい可能性を発見していく。

本校ではクラブ活動も盛んで、全員の生徒がクラブに所属しています。現在、運動系が10クラブ、文化系が15クラブあり、十月祭での成果発表や試合に向けて、日々楽しく切磋琢磨しています。協調性やリーダーシップなど、クラブ活動で学ぶこともたくさんあります。
※平日の活動回数を記載しています。土日に活動するクラブもあります。



器械体操 週3



剣道 週3



陸上競技 週3



バレーボール 週2



バスケットボール 週3

運動系クラブ
10



ソフトテニス 週3



硬式テニス 週3



卓球 週2



水泳 週3



バドミントン 週3

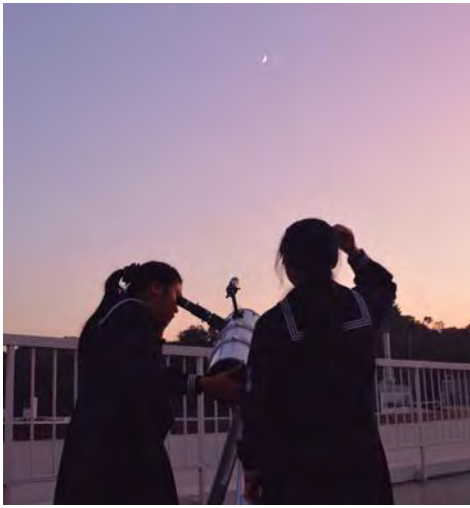
Student's Voice!

どこまでも成長できる場所

本校には各部の部長が定期的に集まる部長会というものがある。行事や休み期間の活動を行う上での留意点の説明がある他、互いに意見交換をする。その中で各部の活動の仕方、工夫しているところや熱意などが感じられて、私達も前進して行こうと思える刺激が貰える。顧問の先生のご指導を受けながらも自分達で自分達のクラブをより良いものに作り上げて行こうとする姿勢は一歩ずつ大人になろうとしている私達にとって欠かせないスキルに繋がっていく。また、試行錯誤を重ねたり、切磋琢磨してきた日々で生まれる仲間の絆は人生の財産になった。

3年O.M.さん





文化系クラブ
15



イラスト 週2

茶道 週2

ミュージカル 週2

物理化学 週2


ソーイング 週1

書道 週1

芸芸 週2

Student's Voice!

「核」を育む3年間を

3年 I.C.さん 

本校の文化系のクラブでは研究に勤しみ、公演に向けた練習に励んでいる。今年度はコロナ禍に於いて活動の制約を受けつつもオンラインを活用し、それぞれの活動を続けてきた。文化系のクラブの魅力は心の成長にある。クラブ活動は自分の探究心を満たし、自己表現の場でもある。また、集団の中の自分と向き合うことで、思いもよらない方向に変化していく愉しさを得られる。3年間の活動で得た知識や経験は私の財産となり、今後の学びの指針となっていくことと思う。将来の自分を支える起点となる3年間を、是非過ごしてみたい。

クラブ活動

学校生活のすべてを学びの場とする本校では、さまざまな行事を開催しています。

入学間もない段階では、まだ上級生にリードされながらの体験や参加ですが、日を重ねるごとに次第に慣れ始め、やがては自発的に取り組み、仲間達とともに頼もしく行事を形作っていきます。

Student's Voice! スポーツデー

ただ、行事ができる喜び 3年 M.M.さん



恒例行事の1つとして行われる予定だった運動会が今年度は新型コロナウイルスの影響により中止となった。その代わりとして実施されたのがスポーツデーだ。前例がない試みで委員長として大きな不安を抱えていたが、いざ本番が始まるとあつという間に時間が過ぎ、運動会の代わりとは思えない達成感を覚えた。先生方からの「立派だったよ」という言葉は私にとって一生忘れられない大切な体験と宝物になった。先が見えない今を忘れ心底かけがえのない時を過ごすことができ、仲間たちと最高の思い出となる行事となり全てに感謝したい。

Student's Voice! 音楽会

心を通い合えず音楽会 3年 Y.K.さん



クラスや学年を越えて、充実した会を作り上げるために皆で努力を積み重ねていく過程こそが、音楽会の魅力だと感じている。しかし、今年は例年とは異なる形の音楽会だったため、初めてのことで皆が不安に思っていた。だが、私はある歌に出会い、心に残る音楽会を作り上げようと決心できた。そして本番では一人ひとりが互いの音色を感じ、音楽を通して心一つにできたと思う。言葉を交わさずとも、歌や演奏という形で心を通い合わせることができる音楽会は私の大好きな行事であり、音楽会を経験できたことを誇りに思う。

4 April

- 入学式
- 創立記念日(20日)
- 生徒総会
- 新入生歓迎会
- 親睦会

5 May

- PTA総会
- 教育懇談会
- 中間テスト

6 June

- 運動会
- 読書週間・読書会
- 歌舞伎鑑賞会 (2年生)
- 成瀬先生
生誕記念日(23日)

7 July

- 期末テスト
- 朗読劇鑑賞会
- 三泉寮生活(軽井沢)
1年生

8 August

- 理学部サマースクール
(目白)

9 September

- 選択校外授業 (3年生)
- 東北校外授業 (2年生)
- 大学教員による
授業(目白) (3年生)
- ようこそ先輩 (1年生)



運動会



十月祭(文化祭)

みんなで一つになる喜びと、目標に向かって努力する楽しさを味わいます。

6月の運動会は、6クラス対抗の縦割りでを行います。各クラス2名の運動会行事委員が中心になってそれぞれの競技の練習に励み、競い合います。クラスが団結し、協力しあうことでクラス作りにも大切な行事です。

運動をすることの喜び、皆で一つの目標に向かって努力する楽しさを味わうことのできる運動会です。

全校生徒の様々な思いや感じたことを、生き生きと表現します。

十月祭の基本方針や様々な企画も、生徒たちが話し合いを重ねて決定します。伝統を土台に、中学生だからできること、感じることも、様々な思いを一つ一つ形にしていきます。時に壁にぶつかっても「全校生徒の生き生きした様子を校外外に伝える裏方」という合言葉のもと、多角的にアイデアを出す行事委員。伸びやかに、そして着実に、研究発表の場「十月祭」を創りあげていく生徒たちは自信に満ちています。



音楽会

ヴァイオリンの演奏や合唱を通し、
音楽の素晴らしさと出会います。

中学生になって初めて手にするヴァイオリン。1年生は皆と合わせるのが精いっぱいでも、2年生になると名曲に挑戦し、3年生では感情をつけて演奏します。合唱は、音楽の深さ、素晴らしさを年ごとに発見します。プログラムの最後には、ホール一杯に1年の感謝を込めたメサイヤが響き渡ります。



能楽鑑賞会

本物に触れることで磨かれる感性。
自分の将来への財産となります。

講演会と芸術鑑賞会を多く行います。様々な分野からお招きする講師の、自らの経験に即したお話は生徒の視野を大きく広げます。音楽鑑賞会や朗読劇のほか、歌舞伎(2年生)、能楽(3年生)といった伝統芸能に触れる機会も設けています。

10 October

- 十月祭(文化祭)
- 中間テスト

11 November

- 読書週間・読書会
- スポーツデイ (2020年度)

12 December

- 期末テスト
- 音楽会
- スケート教室 1・2年生
- スキー教室 3年生

1 January

- 自治選挙 2年生
- 成瀬先生 告別講演 記念日(29日)

2 February

- 能楽鑑賞会 3年生
- キャリア教室 3年生
- 国際理解教室 2年生
- 年間研究発表会
- 期末テスト

3 March

- 成瀬先生ご命日(4日)
- 球技会
- 生徒総会
- 卒業式
- 春休み英語集中プログラム 1年生



創立記念式

1901年の創立を祝う記念式。創立以来の伝統でもある記念植樹は、「木植えの歌」を合唱しながら生活部が中心となって行います。



読書会

図書委員会が中心となって進行する読書会は学年で行われ、本をもとに人間関係や将来のことなど、多様なテーマについて意見を交わす場です。



スキー・スケート教室

スキー教室は3年生、スケート教室は1、2年生の希望者が参加します。初心者から上級者までレベルに合わせて講習を受けられます。



生徒会主催講演会

生徒会総務がその年の基本方針をふまえて講演者を選びます。当日の司会・進行は全て生徒達で行います。



ようこそ先輩

本校卒業の大学生を迎え、1年生2学期に今後の学校生活のヒントとなるお話を伺う貴重な機会です。



球技会

クラス毎に、バスケットボール・バレーボールの2種目を2チームずつ編成し試合を実施。授業で基本技術を習得し、1年間の集大成となる行事です。

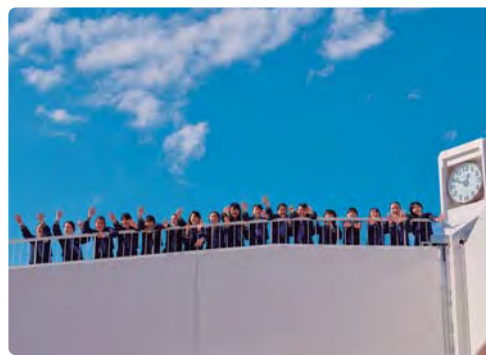
豊かな自然と充実した学習施設。 たくさんの感動や出会いの舞台です。

緑豊かな自然に抱かれた校舎やグラウンドで、勉強や芸術、スポーツ、そして自治活動や学校行事を通して、生徒たちは日々新しい発見や感動と出会います。生徒一人ひとりにとって、青春を謳歌できる思い出深い学校生活をサポートします。



もみじ劇場

渡り廊下に囲まれた校舎中央にある吹き抜けの劇場は、昼休みの生徒の憩いの場です。十月祭では軽音楽クラブのライブ会場になります。



図書室

開架式で図書委員が自発的に運営しています。図書は52,000冊を収納。新刊書も随時購入しています。



テニスコート

森の中にオムニコート4面、クレイコート2面があります。硬式テニス、ソフトテニスクラブの生徒達が技術向上を目指し、元気に活動しています。



グラウンド

大きな空の下、緑の風が吹き抜ける運動場です。放課後は陸上クラブが活動しています。



体育館

火曜日の朝礼、体育の授業のほかに各運動クラブや球技会にも使用します。



第三体育館



屋内プール

設備が整った25mの温水プールです。水泳の授業や水泳クラブが活動しています。



西生田成瀬講堂

1800人規模の大ホールと400人規模の2つの小ホールからなります。さまざまな式典や講演会・学校説明会のほか十月祭のクラブ発表にも使用します。小ホールは学年単位の講演会や話し合いなどに使用します。



南ホール



演習室

1人1台のコンピューターを使い、調べ学習やレポート作成を学びます。



化学実験室



中学だけで4室の理科実験室を備えています。ほぼ毎時間実験や観察を行うことができます。双眼顕微鏡は1人1台使用します。

生物実験室



天体望遠鏡



校舎に備え付けた天文台には直径25cm、長さ2mの天体望遠鏡があります。毎週、天文クラブが観測を行っています。

被服室



調理室には4口のコンロが付いた調理台とオープンが8つずつあります。教員の実演が見える師範台もあります。被服室には1人1台のミシンがあり、落ち着いて製作を行い、自立心を養います。

調理室



LL教室



1人ずつヘッドホンをつけて英会話の練習や、映画のセリフの聞き取りをします。

声楽室



本格的な発声が学べ合唱の素晴らしさが実感できる声楽室です。その他に、ヴァイオリンの授業で使う声楽器楽室があります。

工芸室



広いスペースがある工芸室には、木工機械やガスバーナーを備えており、さまざまな創作活動が繰り広げられます。他に美術室、陶芸スペース、ギャラリーがあります。

書道室



障子窓のある部屋で、心を落ち着かせて文字を書くことに集中します。

食堂



カフェテリア方式の明るい食堂。日替り定食や麺類など、メニューも充実しています。

保健室



生徒達が学校生活の様々な場面でのケガや体調を崩した時のため、保健室では中高それぞれ専任のほか、非常勤の養護教諭も加え、柔軟に対応できる体制をとっています。

相談室



思春期という多感でデリケートな時期は悩みがつきもの。専任のカウンセラーが、生徒や保護者の相談に応じています。

キャンパス案内

高校、大学、そして社会へ。 じっくり未来に向き合えるのが附属校の強み。

日本女子大学附属高等学校への進学

中学と高校は一貫校としての連続性を生かしつつも、その独立性を保ち、発達段階に応じた教育を行っています。学習面では、中学で基礎学力と学ぶ姿勢を育み、それを土台に、高校で文系・理系に偏らないバランスの取れた知識と教養を身につけます。生活面では、普段の生活から行事まで生徒が運営する「自治活動」を、中高それぞれで行っています。中学生は高校生から教える“下級生”ではなく、学校の主役として活動します。中学の「自治活動」で得た成功と失敗の経験を携えて、より生徒にまかされる部分が多い高校の「自治活動」へ。生徒は2段階で成長していきます。附属高校へは、推薦で進学します。本人が希望し、中学の学習・生活にしっかりと取り組めた生徒を、附属高校へ推薦します。例年、中学校卒業生の約95%が内部進学しています。

特別講座「知の泉」～授業のない休日を有効活用する新しい学びの場～

高校においても、土曜日は生徒登校日ではありません。夏休みなども長期にわたる休暇となっています。本校では、「自念自動」の精神のもと、強制ではなく、他律でもなく自ら考えて自己実現に向けて行動する生徒を応援する特別講座「知の泉」を開催しています。

これまで実施した特別講座

- TOEIC対策講座 ●現代社会を見つめる ●数学答案作成力を培う夏休み ●宇宙の魅力を探る
- 自己を見つめてPR!～小論文対策講座～ ●多様な進路を考える ●数学を究める ●声に出して読む平家物語



大学への進学

日本女子大学への進学

日本女子大学への推薦は基本的にすべての生徒に保証されており、授業見学や説明会など大学での勉強や生活を知る機会が豊富に用意されています。高校2年の前期に、全員を対象に日本女子大学の説明会が開かれます。その後、希望調査を行い、高校3年の1月に作文を提出し面接を行うとともに、それまでの定期考査の成績などを総合的に判断して、推薦が決まります。大学の各学科が附属生のために用意している推薦枠の総数は1学年の生徒数を大きく上回っています。生徒の希望が少数の学科に集中しない限り、第一志望の学科に進学できます。

他大学への進学

日本女子大学にない他の学部への受験を希望する場合は、併願制度を利用することができます。他大学への受験が不合格の場合でも日本女子大学への進学が認められているので安心です。

併願受験できる学部

医学部・歯学部・薬学部・看護学部・獣医学部・芸術学部・体育学部・法学部のうち1学部

2020年度 日本女子大学以外の主な合格・進学先

国公立大学

東京大学/1 東京工業大学/1 東京外国語大学/2
豊橋技術科学大学/1 九州工業大学/1

私立大学 医薬歯看護獣医系

北里大学/2〔2〕 杏林大学/2 慶應義塾大学/1 埼玉医科大学/2〔1〕
順天堂大学/1 昭和大学/3〔1〕 昭和薬科大学/1〔1〕
聖マリアンナ医科大学/2〔1〕 帝京大学/1 東京医科大学/1 東京歯科大学/2〔1〕
東京薬科大学/2〔2〕 東京理科大学/1〔1〕 東邦大学/1 日本大学/2
日本歯科大学/2〔2〕 日本獣医生命科学大学/1〔1〕 明治薬科大学/1〔1〕

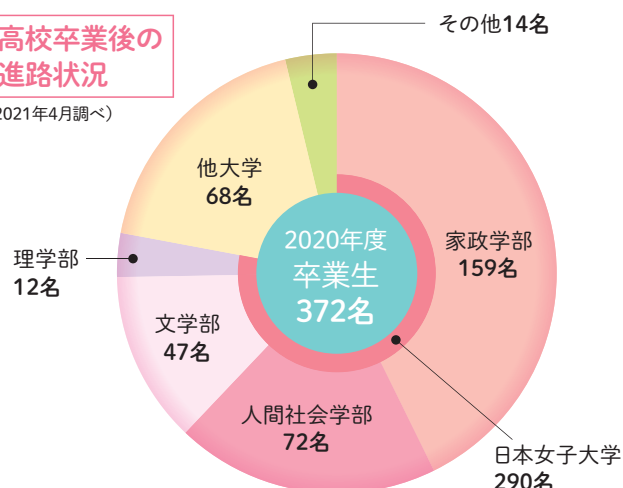
私立大学 他学部

慶應義塾大学/12〔3〕 早稲田大学/11〔1〕 上智大学/18〔7〕
東京理科大学/5〔3〕 明治大学/8 青山学院大学/10〔4〕
立教大学/10〔2〕 中央大学/15〔7〕 法政大学/7〔1〕 国際基督教大学/1
多摩美術大学/1 東京音楽大学/3 武蔵野美術大学/1

〔 〕は推薦合格者数

高校卒業後の 進路状況

(2021年4月調べ)



学校推薦型選抜(指定校制)一覧 (一部抜粋)

- 〔慶應義塾大学〕 理工学部 3 〔早稲田大学〕 基幹理工学部 1
- 〔上智大学〕 法学部 3/外国語学部 2
- 〔東京理科大学〕 理学部第一部 1/薬学部 1/先進工学部 1/経営学部 1
- 〔学習院大学〕 法学部 4/経済学部 2/理学部 4
- 〔青山学院大学〕 経済学部 1/法学部 1/経営学部 1/理工学部 1/社会情報学部1
- 〔立教大学〕 観光学部 1/現代心理学部 2
- 〔中央大学〕 法学部 5/理工学部 5/総合政策学部 1/国際経営学部 1
- 〔法政大学〕 文学部 1/グローバル教養学部 1/デザイン工学部 1
- 〔北里大学〕 医学部 3/獣医学部 1 〔東京女子医科大学〕 医学部 1
- 〔聖マリアンナ医科大学〕 医学部 2 〔東京歯科大学〕 歯学部 1
- 〔明治薬科大学〕 薬学部 2 〔昭和薬科大学〕 薬学部 1
- 〔東京薬科大学〕 薬学部 女子部 2/生命科学部 1

日本女子大学

家政学部 児童学科／食物学科／住居学科／被服学科／家政経済学科	生活の質の向上と人類の福祉に貢献する実践的総合科学を学びます。家政学部5つの学科で学ぶ事柄は、すべて私たちの身近な生活を素材にしたもので、自然科学的、人文科学的、社会科学的に探究し、理論を実生活に応用することにより、職業的能力など「生きる力」を大きく発展させ、社会をより豊かにする力を養います。
文学部 日本文学科／英文学科／史学科	過去の遺産を理解し、研究するために、日本語はもとより英・独・仏・中・韓などの諸言語を学びます。資料、文献を読みこなす力をつけるとともに、専門の講義・演習へと進む中で議論を積み重ね、課題解決に必要な力を養っていきます。こうして身につけた総合的な知的能力こそ、人間としての揺るぎない核となるのです。
人間社会学部 現代社会学科／社会福祉学科／教育学科／心理学科／文化学科	5つある学科では、それぞれの分野で「人間と社会」を深く理解する「豊かな知」、それを応用して「社会的に実践する技」を学ぶ授業や少人数制の演習、実習科目を提供しています。人間と社会を総合的に学び、ヒューマンサービスを中心に拡大する職業分野を視野に入れ、社会に貢献できるキャリア育成をめざします。
理学部* 数物情報科学科／化学生命科学科(現・数物科学科／物質生物科学科)	科学のさまざまな分野にある「なぜ?」に惹かれ「なんとかしたい!」という強い思いをもった人が理学部には集まります。基礎科学の研究の重要性が再認識される現在、科学者・技術者の意義と役割は一層大きなものとなっています。ヒューマニズムに根ざした志の高い「理系女性」を育てます。

※ 2022年4月学科名称変更予定(構想中)。なお本計画は構想中であり、内容は変更となる場合があります。

目白キャンパス



百年館



成瀬記念講堂



図書館



百二十年館

大学院

家政学研究科	修士課程	○児童学専攻 ○食物・栄養学専攻 ○住居学専攻 ○被服学専攻 ○生活経済専攻 ○通信教育課程家政学専攻*
人間生活学研究科	博士課程(後期)	○人間発達学専攻 ○生活環境学専攻
文学研究科	博士課程(前・後期)	○日本文学専攻 ○英文学専攻 ○史学専攻
人間社会研究科	博士課程(前・後期)	○社会福祉学専攻 ○教育学専攻 ○現代社会論専攻 ○心理学専攻 ○相関文化論専攻
理学研究科	博士課程(前・後期)	○数理・物性構造科学専攻 ○物質・生物機能科学専攻

※2021年度募集停止

留学制度

在学中に1年間を上限として、休学せずに海外の大学に留学できる2種類の制度があります。協定校への協定大学留学と、協定校以外への認定大学留学で、2年次から留学が可能です。また、独自の奨学金制度などがあり、積極的に留学を支援しています。(ウェルズリー・カレッジ、オレゴン大学、ノッティンガム大学 他)

5大学間単位互換制度(f-Campus) 同志社女子大学との交流

学習院大学、学習院女子大学、日本女子大学、立教大学、早稲田大学の5大学間には単位互換制度があり、学生は各大学が提供する科目を履修できます。また、日本女子大学と同志社女子大学は学生交流に関する協定を結び、1年間の学生の派遣と受け入れを行っています。

就職状況と主な就職先

日本女子大学の2020年度(2021年3月現在判明分)の就職率は約94.5%(2021年3月現在判明分)、就職に強い大学として高い評価を得ています。また、内定先に対する満足度でも圧倒的多数の学生が「満足」という感想を抱いています。

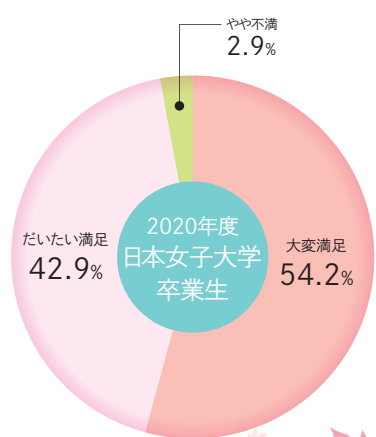
主な就職先 (2021年3月現在判明分)

明治安田生命保険(18)、住友生命保険(14)、第一生命保険(11)、三井不動産リアルティ(10)、ベネッセスタイルケア(10)、りそな銀行(8)、日本生命保険(8)、東日本旅客鉄道(7)、日本電気(6)、TIS(6)、三井住友信託銀行(6)、アイングループ(5)、中央労働金庫(5)、あいおいニッセイ同和損害保険(5)、三井住友海上火災保険(5)、東京海上日動火災保険(5)、清水建設(4)、富士通(4)、アクセンチュア(4)、LEOC(4)、こどもの森(4)、日本放送協会(3)、日立産業制御ソリューションズ(3)、丸井(3)、イオンフィナンシャルサービス(3)、かんぽ生命保険(3)、三菱地所コミュニティ(3)、IMSグループ(3)、積水ハウス(2)、日本総合住生活(2)、明治(2)、ハウス食品(2)、キリンビバレッジ(2)、ヤクルト本社(2)、大日本印刷(2)、凸版印刷(2)、日本軽金属(2)、リコージャパン(2)、三菱電機(2)、日立製作所(2)、エヌ・ティ・ティコミュニケーションズ(2)、ソフトバンク(2)、東日本電信電話(2)、SCSK(2)、三菱総研DCS(2)、楽天(2)、日本アクセス(2)、そごう・西武(2)、大塚商会(2)、国際協力銀行(2)、日本銀行(2)、日本政策投資銀行(2)、三菱UFJ銀行(2)、岡三証券(2)、ソニー生命保険(2)、大同生命保険(2)、東京海上日動あんしん生命保険(2)、日本コプ共済生活協同組合連合会(2)、大樹生命保険(2)、(国立研究)農業・食品産業技術総合研究機構(2)、アンダーソン・毛利・友常法律事務所(2)、西村あさひ法律事務所(2)、サイバーエージェント(2)、大林組(1)、鹿島建設(1)、大成建設(1)、大和ハウス工業(1)、山崎パン(1)、サントリ(1)、森永乳業(1)、エーザイ(1)、花王(1)、協和キリン(1)、

信越化学工業(1)、ディスコ(1)、日本精工(1)、村田製作所(1)、東京エレクトロン(1)、ヤマハ発動機(1)、コクヨ(1)、良品計画(1)、伊藤忠テクノソリューションズ(1)、MS&ADシステムズ(1)、日本アイ・ピー・エム(1)、NSD(1)、USEN-NEXT(1)、ラック(1)、キングレコード(1)、集英社(1)、北海道新聞社(1)、毎日新聞社(1)、東武鉄道(1)、澁澤倉庫(1)、スノーピーク(1)、丸紅(1)、三井物産アイ・ファッション(1)、三菱食品(1)、岩谷産業(1)、内田洋行(1)、エトワール海渡(1)、スズキ(1)、タキヨー(1)、ジェイアール東日本商業開発(1)、静岡銀行(1)、千葉銀行(1)、城南信用金庫(1)、全国共済農業協同組合連合会(1)、農林中央金庫(1)、横浜信用金庫(1)、ジェーシービー(1)、クレディセゾン(1)、三菱UFJニコス(1)、S-MBC日興証券(1)、野村證券(1)、独立行政法人都市再生機構(1)、オリックス(1)、みずほリース(1)、芙蓉総合リース(1)、PwC京都監査法人(1)、TMI総合法律事務所(1)、長島・大野・常松法律事務所(1)、ペイカレント・コンサルティング(1)、ADK(1)、電通(1)、ディー・エヌ・エー(1)、JT B(1)、宝塚舞台(1)、日本年金機構(1)、日本郵便(1)、(一財)日本品質保証機構(1)、(公財)結核予防会(1)、(一財)日本繊維製品品質技術センター(1)、東京農業大学(1)、角川ドワンゴ学園(1)、日本女子大学附属豊明小学校(1)、国立学園小学校(1)、武蔵野音楽大学附属幼稚園(1)、地方公務員(76)、国家公務員(11)、公立幼稚園教員(1)、公立小学校教員(47)、公立中学校教員(11)、公立高等学校教員(4)

※教員は非常勤・期間付き任用教員を含む

内定先への満足度 (有効回答率97.3%)

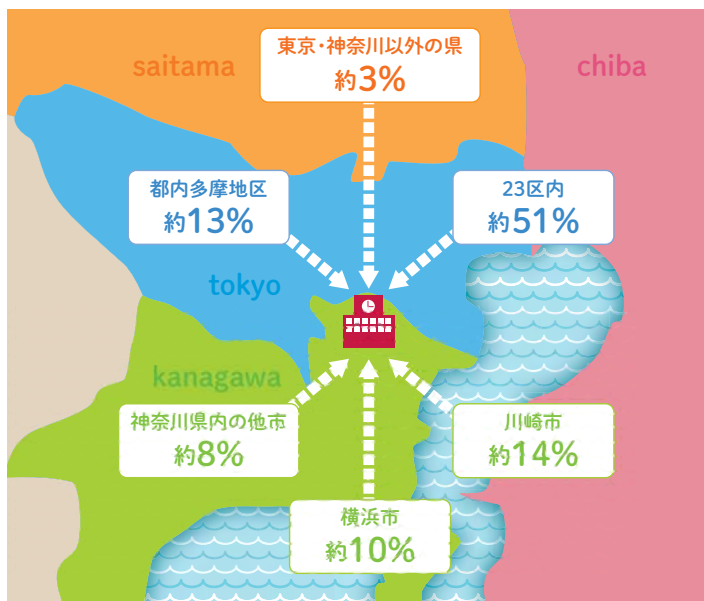


東京・神奈川を中心に、 さまざまな地域から集まっています。

通学圏は東京都区内、東京都下、横浜・川崎地区を中心に広い範囲に及んでいます。多くの生徒が小田急線を利用し、最寄駅の読売ランド前駅から徒歩約10分で“森の中”の中高校舎に到着します。都心方面からの電車は下り線なので混雑も少なく、新宿から最寄駅までの所要時間は約30分(快速急行利用)です。



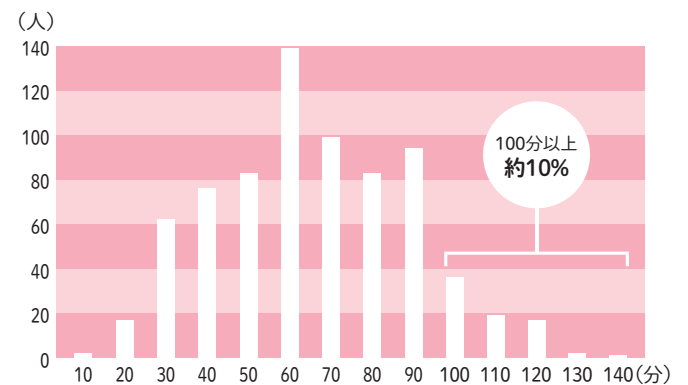
附属中学校生徒の通学圏 (2019年度)



通学時間

全校生徒の平均 **約61分**

30～90分が標準的な通学時間です。100分以上の生徒も約10%います。始業は8時50分で、遠方からも通学しやすくなっています。また、冬季(11～3月)は最終下校を夏季より30分早めて17時としています。



防災と防犯の取り組みについて

災害時において様々な緊急避難経路を把握できるように、全校生徒対象の避難訓練を年に数回実施しています。さらに有志生徒によるAEDを使った人命救助のための講習を行っています。災害時少なくとも3日間は校内で避難生活ができるように、食糧、飲料水、サバイバルブランケット、毛布等を備蓄しています。また、生徒の安全のために正門には警備員が常駐し、巡回警備を行っています。



Q & A

よく寄せられる質問をピックアップしてご紹介します。

クラスの人数とクラス編成

1クラスの人数は中学42名、高校46名です。学年編成は中学が6クラス、高校が8クラスです。専任教員は中学38名、高校50名です。そのうち男性は、約3割となっています。中学校では、クラスの約4割が附属豊明小学校から、6割が他の小学校から入学し、一からクラスづくりを行います。6月に行われる運動会を経ると、出身校に関わらずクラスがまとまり、自分の居場所を見つけられるようになります。

校則

中学では「生活上のきまり」という、必要最低限の学校のきまりを教員と生徒で確認しています。ルールを細かく決めることより、個々の生徒がどうすべきかを考え行動する、そのことを大切にする学校でありたいと思っています。本校では、セーラー服に紺ネクタイを着用します。冬服の式典の時のみ、白ネクタイを着用します。

広くて明るい食堂

中学・高校共有で、一度に約400名の生徒が利用できます。メニューには定食の他、麺類、カレーライス、スパゲッティがあり、冷し中華などの季節メニューもあります。パン、おにぎり、ジュース類の軽食も販売していますので、昼食時に購入して教室などで食べることも可能です。

土曜日の登校

総合的な学習の特別企画や運動会、音楽会などの行事があり、土曜日に登校する場合があります。クラブによっては土曜日に活動をしたり、試合・コンクールに参加することもあります。基本的には家族と共に過ごす中で、教科の課題、年間研究、趣味や稽古事、地域ボランティア活動、読書など、有意義に過ごすように指導をしております。

留学

高校では、AFS、YFU、ロータリーなどを紹介しており毎年数名が、短期(1ヶ月)や長期(1年)の海外留学をしています。公的留学機関(AFS、YFU、ロータリー)に校長推薦を得て応募し、海外に1年間留学した場合は、帰国後単位認定の面接を受け、所定の条件を満たせば出発時の回生に復学できます。その場合は、文部科学省の認める上限単位である30単位まで認定いたします。

保護者転勤に伴う復学

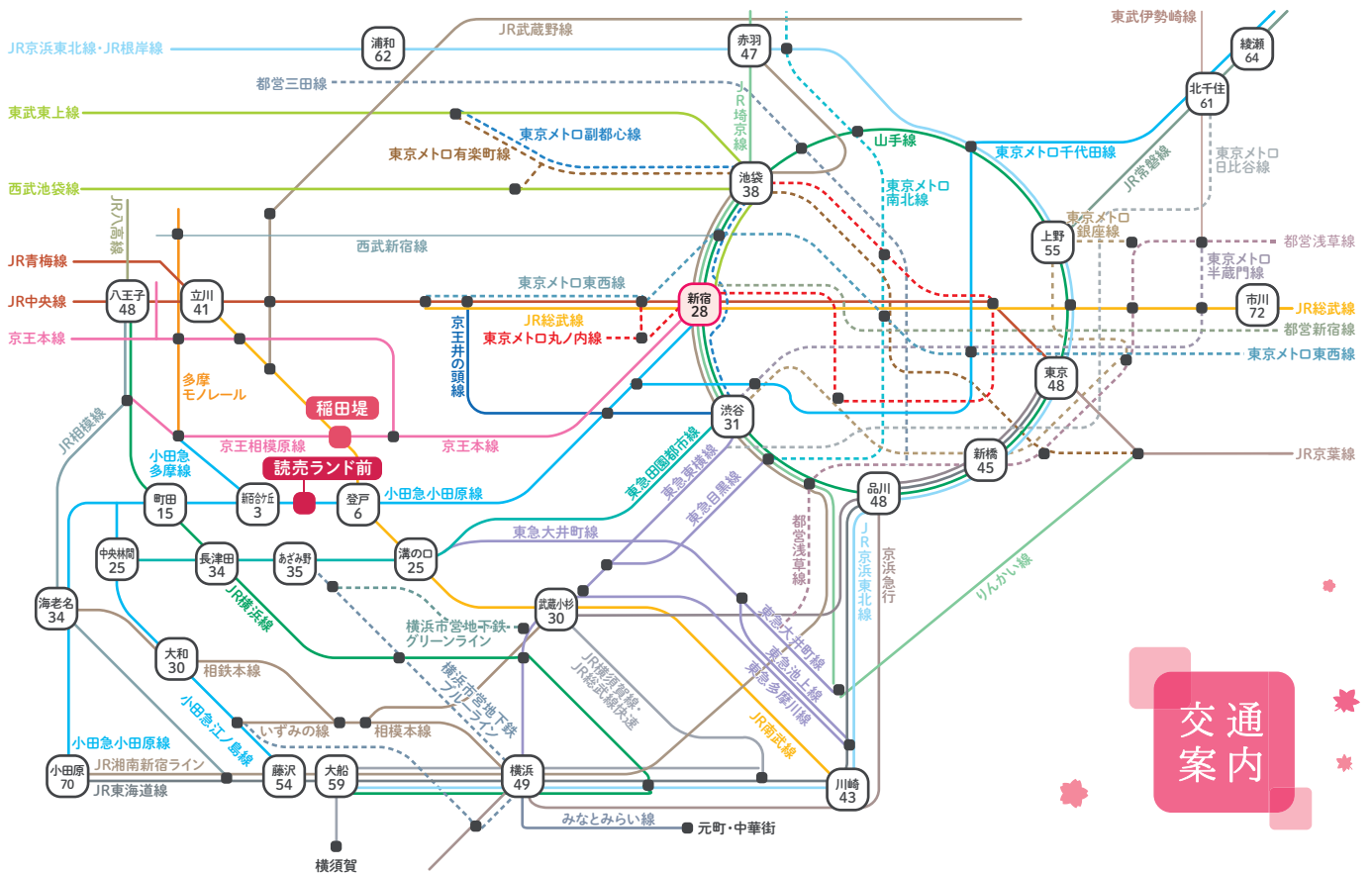
保護者の転勤などの理由により転校(海外を含む)する必要が生じた場合、一定の条件のもとで復学を認めています。中学1年の1学期は必ず在籍していただきます。本校に在学した期間に応じて、復学できる期日が異なりますので、詳細はお問い合わせください。

学費

2022年度の学費は未定です。ご参考までに2021年度学費を掲載します。

入学金	250,000円	入学手続きの際に納入	施設設備費は、所定の期日までに入学取り消しの手続きがなされた場合は返金します。
施設設備費(1期分)	95,000円		
授業料(年額)	511,000円	4月入学後に納入	※校納金の内訳 PTA入会金 3,000円、PTA会費 15,000円、 自治会・クラブ費 5,000円、予納金 65,000円、 ICT教育推進費 50,000円
施設設備費(2・3期分)	188,000円		
その他 校納金※(年額)	138,000円		
納入合計	1,182,000円		



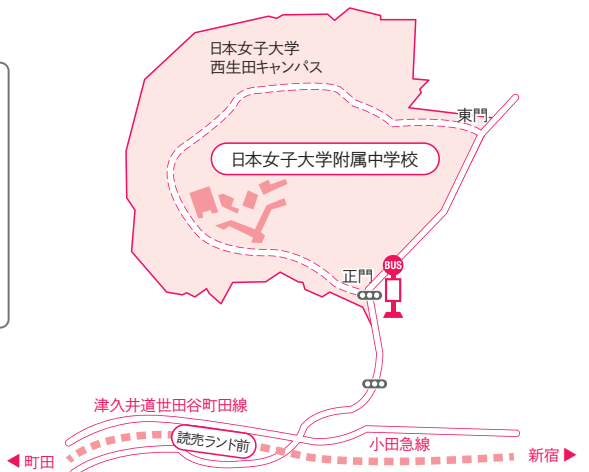


交通案内

各駅名下の数字は小田急線 読売ランド前駅までのおおよその所要時間です。

東京	約48分	JR中央線	小田急線	読売ランド前	徒歩 約10分	日本女子大学 附属中学校
品川	約50分	JR山手線	小田急線			
池袋	約43分	JR山手線	小田急線			
渋谷	約35分	京王井の頭線	小田急線			
八王子	約55分	JR横浜線	小田急線			
小田原	約70分	小田急線	小田急線			

- 小田急線 読売ランド前駅より徒歩約10分
- 京王線 京王稲田堤駅前 城下バス停よりバス約10分(生田折返場行 女子大前下車)
(JR南武線稲田堤駅からのバスは少ないので、京王稲田堤駅前の城下バス停までお歩きください。徒歩約7分です。)
- 京王線 京王よみうりランド駅よりバス約15分(寺尾台団地行 女子大前下車)



2021年度 学校説明会(予定)

オープンスクール	6月19日(土)	土曜説明会	9月25日(土)	入試問題解説会	11月20日(土)
クラブ体験会	8月21日(土)	授業見学説明会	10月19日(火)	入試報告会	2022年 3月12日(土)
学校説明会	9月11日(土)	土曜説明会	10月23日(土)		

詳細はホームページでご確認ください。

事前にホームページからご予約ください。

※お車でのご来校はご遠慮いただいております。※公開行事は、男性のみでのご来場はご遠慮いただく場合があります。

2021年度 公開行事(予定)

十月祭(文化祭)	10月 9日(土) 10月10日(日)
親子天体観望会	12月 4日(土)



日本女子大学附属中学校

<入試事務室>Tel.044-952-6705

神奈川県川崎市多摩区西生田1丁目1番1号 〒214-8565
Tel.044-952-6731 Fax.044-954-5450
<https://www.jwu.ac.jp/hsc/> Eメール n-fuzokuh@atlas.jwu.ac.jp



学校法人
日本女子大学



WEBはこちら